

# 2019年第2回 東京都議会議員調査結果

## 津田塾大学総合政策学部 中條3年セミナー

2019年10月メールや郵送にて依頼

### 所属する会派への満足度(%)

	会派平均	回答者(n=47) に占める割合
都民	81.67	38.3%
自民	79.00	10.6%
公明	88.33	12.8%
共産	97.08	25.5%
民主	90.00	4.3%
東み	96.67	6.4%
無(生ネ)	100.00	2.1%

### イデオロギー(左派0, 右派10)

	会派平均	回答者(n=47) に占める割合
都民	5.75	38.3%
自民	6.60	10.6%
公明	5.17	12.8%
共産	1.08	25.5%
民主	5.50	4.3%
東み	5.00	6.4%
無(生ネ)	3.00	2.1%



### 考察

回答全体から、多くの議員が会派の方針にしたがって回答・行動する傾向にあることが読み取れる。また、質問の内容によって回答に男女差がある。有権者が投票する際は会派の方針や候補者の性別が参考になる可能性がある一方で、個々の議員はどのように個性を出してゆくかが問われるかもしれない。

### 都知事の仕事ぶり(10点満点)

	会派平均	回答者(n=47) に占める割合
都民	9.69	37.5%
都民以外	4.95	62.5%

### 議員を辞めたいと思ったことはあるか

	ある	ない	総計
女性	14(63.6%)	11(50.0%)	22(100.0%)
男性	11(39.3%)	13(46.4%)	28(100.0%)
総計	25(50.0%)	25(50.0%)	50(100.0%)



### 都議会議員になる前後での報酬変化

	減少	変化なし	増加	総計
都民	10(52.7%)	3(15.8%)	6(31.6%)	19(100.0%)
都民以外	6(20.0%)	1(3.3%)	22(66.7%)	19(100.0%)
総計	25(50.0%)	25(50.0%)	29(59.2%)	50(100.0%)

### 都議会における女性の働きやすさ

	働きやすい	どちらとも いえない	働きにくい	総計
女性	2(9.1%)	9(40.9%)	11(50.0%)	22(100.0%)
男性	3(10.7%)	12(42.9%)	13(46.4%)	28(100.0%)
総計	5(10.0%)	21(42.0%)	24(48.0%)	50(100.0%)

### その他の質問

#### -政治活動に関するもの

- SNS (Twitter, Facebookなど) やウェブサイトの利用は**回答全議員が行っており**、かつこれらのツールはほとんどの議員が**政治活動に役立っている**と回答
- 都民の意見を反映するため、**定期集会の開催、活動報告配布、SNSやマスメディアのチェックなどに注意している**との回答が多数
- **有権者との対面・電話・メールによる直接コンタクト**が議員としての活動に最も影響を与えるとの回答が多数
- 前回の選挙ポスター作成時に気にかけたことは**字の大きさ、レイアウト、色、笑顔、言葉**との回答が多数

#### -東京都の政策に関するもの

- 都議会議員として、**都の待機児童問題の解消が十分に行われている**との回答が多数
- 都議会議員として働く中で、**労働時間が多く休憩時間が少ない**との回答が多数
- 東京都が提供するがん患者への精神的サポートは**どちらかといえば不十分・不十分**との回答が多数
- 東京都のサイバーセキュリティは**どちらともいえない・不十分**との回答が多数
- 2016年に出された東京都資源循環・廃棄物処理計画の目標達成は**どちらかといえば不十分・不十分**との回答が多数
- 回答者のほとんどがタバコを吸っておらず、東京都条例の**飲食店の全面禁煙に賛成多数**
- 生産年齢人口の減少を補うという点において、東京都では**外国人労働者受け入れ政策は重要・どちらかと言えば重要**との回答が多数
- 高齢者の運転免許の返納について、**東京都が積極的・どちらかと言えば積極的に関わるべき**との回答が多数